

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	宇宙プラズマ中の電磁サイクロトロン波による電子加速散乱機構の実証的研究
研究代表者	大村 善治 (京都大学・生存圏研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、宇宙プラズマ中の電磁サイクロトロン波による電子加速及び散乱機構を人工衛星観測及び非線形波動モデルから実証することを目的としているものである。応募者は当該分野で国際的に認知されている研究者で最先端の研究成果を発表しており、これらの成果を更に発展させジオスペースの放射線環境の理解と非線形プラズマ物理の深化に成果を上げることが期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>